

令和元年度 市政ネットモニター 調査結果
【福島市保健福祉センターの利用に関する調査】

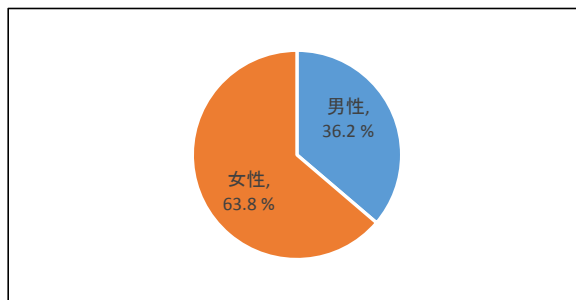
テーマ	福島市保健福祉センターの利用に関する調査
目的	現在、公共施設の多くは老朽化が進むとともに、今後予想される人口減少や少子高齢化により、公共施設等を取り巻く環境が大きく変化することが想定されます。 このような社会情勢の変化などを見据え、保健福祉センターの利用状況やご意見についてお伺いし、今後の方向性を考えていくための基礎資料とするため、アンケートを実施しました。

調査期間	令和元年7月16日(火)～8月1日(木)
モニター数	227名(男性:84名/女性:143名)
回答数	149名(男性:54名/女性:95名)
回答率	65.6%

【今回の回答モニターの基本属性】

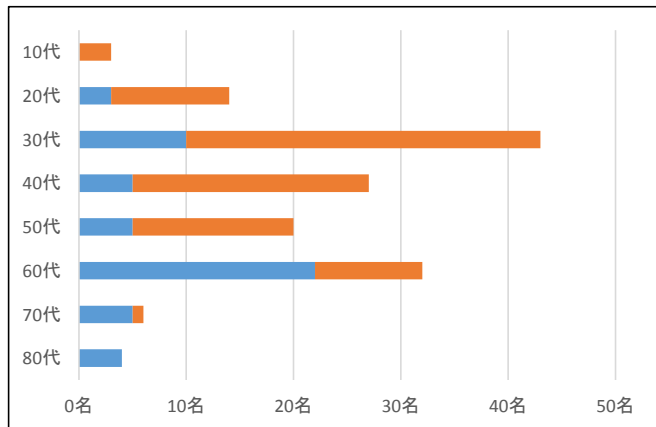
(1)性別

男性	54名
女性	95名
合計	149名



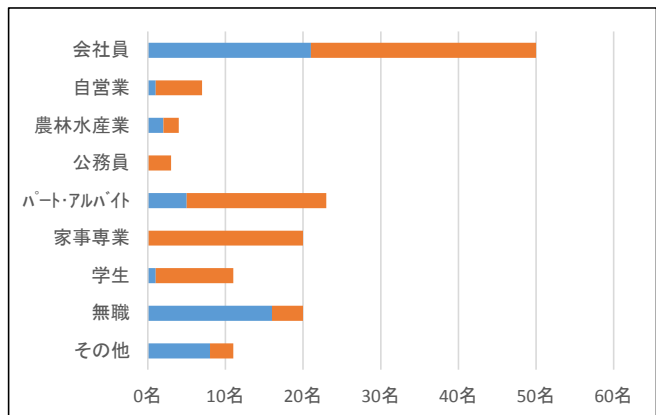
(2)年代

年代	男性	女性	合計
10代	0名	3名	3名
20代	3名	11名	14名
30代	10名	33名	43名
40代	5名	22名	27名
50代	5名	15名	20名
60代	22名	10名	32名
70代	5名	1名	6名
80代	4名	0名	4名
合計	54名	95名	149名



(3)職業

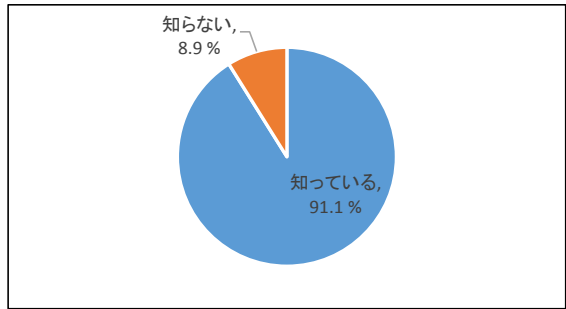
年代	男性	女性	合計
会社員	21名	29名	50名
自営業	1名	6名	7名
農林水産業	2名	2名	4名
公務員	0名	3名	3名
パート・アルバイト	5名	18名	23名
家事専業	0名	20名	20名
学生	1名	10名	11名
無職	16名	4名	20名
その他	8名	3名	11名
合計	54名	95名	149名



問1 福島市保健福祉センターを知っていますか。

知っている	133名
知らない	13名

〈回答者:146名〉

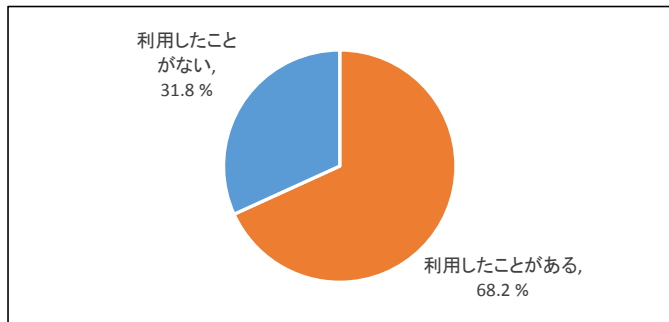


【保健所総務課】
約90%の方が、福島市保健福祉センターを「知っている」と回答していることから、おおむね認知されている施設であることがわかりました。

問2 あなたやあなたの家族は、福島市保健福祉センターを利用したことがありますか。

利用したことがある	101名
利用したことがない	47名

〈回答者:148名〉

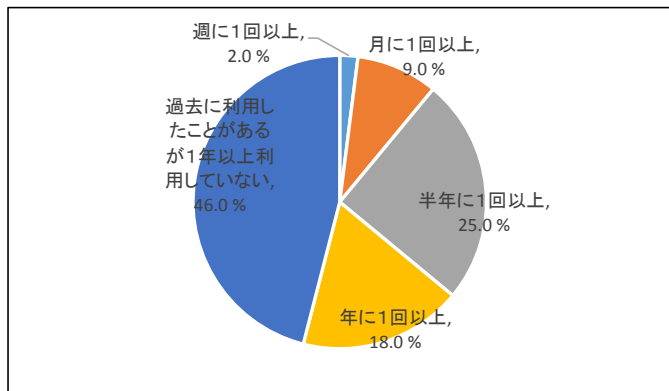


【保健所総務課】
約68%の方が、福島市保健福祉センターを利用されていることがわかりました。

問3 保健福祉センターを利用する頻度はどれくらいですか。

週に1回以上	2名
月に1回以上	9名
半年に1回以上	25名
年に1回以上	18名
過去に利用したことがあるが1年以上利用していない	46名

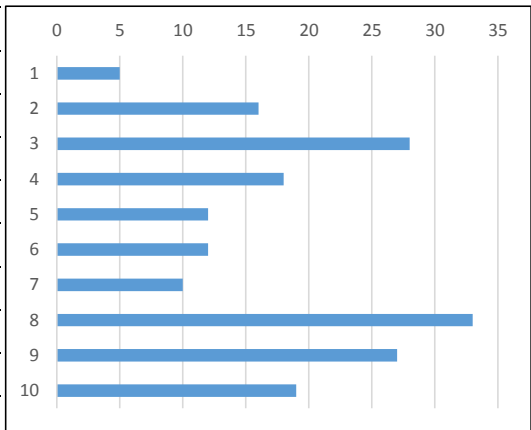
〈回答者:100名〉



【保健所総務課】
約54%の方が、年に1回以上福島市保健福祉センターを利用していることがわかりました。

問4 どのような目的で利用しましたか。《複数回答》

1 医事業事・食品・衛生・動物関係手続き・相談週に3回以上	5名
2 予防接種や健康についての手続き・相談	16名
3 こども関係手続き・相談	28名
4 会議や研修	18名
5 健康に関する活動	12名
6 こどもに関する活動	12名
7 市民健診	10名
8 乳幼児健診	33名
9 おもちゃ広場利用	27名
10 その他(ボランティア、献血、夜間診療、休日歯科診療等)	19名



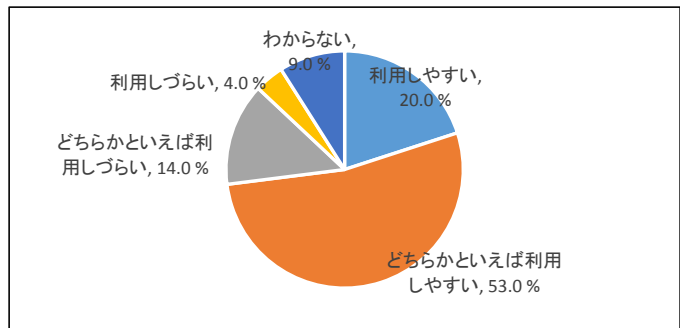
〈回答者:101名〉

【保健所総務課】

福島市保健福祉センターは、さまざまな目的で利用されていますが、特に子ども関係の手続き・相談や乳幼児健診、おもちゃ広場の利用など、子どもに関することでの利用が多いことがわかりました。

問5 保健福祉センターは利用しやすいですか。

利用しやすい	20名
どちらかといえば利用しやすい	53名
どちらかといえば利用しづらい	14名
利用しづらい	4名
わからない	9名



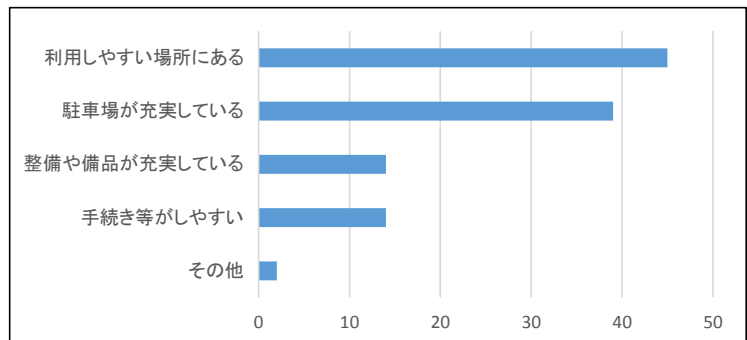
〈回答者:100名〉

【保健所総務課】

約73の方が「利用しやすい」「どちらかといえば利用しやすい」と回答していることから、おおむね利用しやすい施設であることがわかりました。

問6 問5で「利用しやすい」・「どちらかといえば利用しやすい」と回答された方にお聞きます。利用しやすい(満足している)ところは何ですか。《複数回答》

利用しやすい場所にある	45名
駐車場が充実している	39名
整備や備品が充実している	14名
保健福祉・子育て関係の窓口が集中していて手続き等がしやすい	14名
その他	2名



〈回答者:73名〉

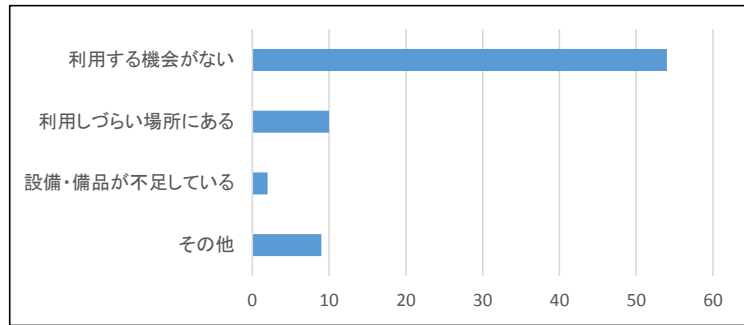
【保健所総務課】

保健福祉センターが利用しやすい理由としては、立地場所や駐車場が充実していることであることがわかりました。

問7 問2で「利用したことがない」または問5で「どちらかといえば利用しづらい」「利用しづらい」と回答された方にお聞きします。利用しない(利用しづらい)理由は何ですか。《複数回答》

利用する機会がない	54名
利用しづらい場所にある	10名
設備・備品が不足している	2名
その他	9名

〈回答者:64名〉



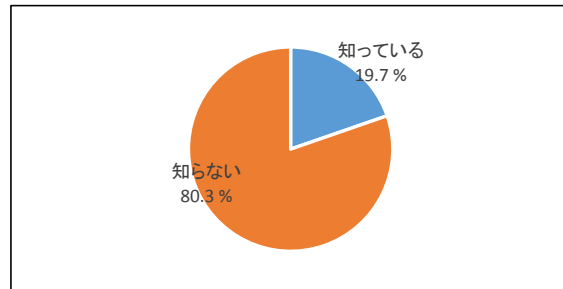
【保健所総務課】

保健福祉センターを利用する機会がない方が多くいることがわかりました。また、その他としては、「どのような利用ができるのかそもそも広報不足でわからない」「駐車場が停めにくい、足りない」「本庁との連携を図ってほしい」「食事できる場所がなく、憩いの場になっていない」などのご意見をいただきました。

問8 保健福祉センターが福祉避難所に指定されていることを知っていますか。

知っている	29名
知らない	118名

〈回答者:147名〉



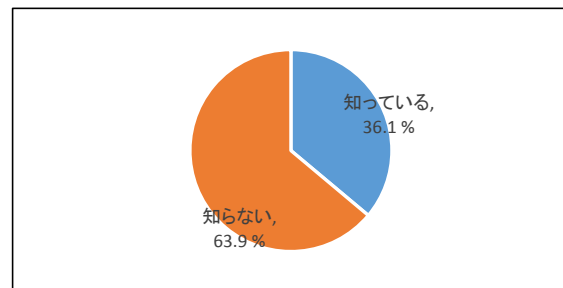
【保健所総務課】

保健福祉センターが福祉避難所に指定されていることは、約80%の方が「知らない」との回答でした。今後は広く市民の皆さんへ周知する必要があると認識しました。

問9 中核市への移行に伴い、平成30年から保健福祉センターに保健所が設置されたことを知っていますか。

知っている	53名
知らない	94名

〈回答者:147名〉



【保健所総務課】

保健所の設置については、約64%の方が「知らない」との回答でした。中核市へ移行してから1年以上が経過する中で、まだまだ市民の皆さまへの広報が不足していることがわかりました。

問10	保健福祉センターに望む機能や利用方法などがあれば、ご自由にご記入ください。
-----	---------------------------------------

ご意見

【施設機能について】

- ・以前夜間病院があったが今は移動しているから利用しづらくなり困った。
- ・以前に食堂のところにあった談話のできる場所があればいい。
- ・老人同士グループが目的を持った打合わせができる場所があればいい。
- ・福島市のためのボランティアグループの打合わせの場所があればいい。他の市の施設は利用料金が取られる。
- ・気軽に利用できる場所で、その際申し込み書を書いてできるように。
- ・PCのできる環境を。
- ・市役所の支所のような機能があれば、すべてここで対応できるので、便利だと思います。
- ・福島市の施設として100%の活用を。
- ・福島県社会福祉協議会との競合業務の一元化を。中核都市構想による業務の見直しがいかにされていない。
- ・福島市医師会事務局 入居されている事に違和感を感じます。
- ・デイサービスセンタの機能が不明確。デイサービス等は民間の介護施設の業務では。
- ・高齢者の避難所を4小でなく保健福祉センターにしてもらいたい。
- ・献血ルームの設置を。
- ・送迎サービスの実施。
- ・13号国道の信号、横断歩道を渡って、中央郵便局の敷地と横断歩道橋の間を通りますが狭いと思います。
- ・中央郵便局の敷地側に広げる余地があると思いますので前向きに検討をお願いします。
- ・1階のロビーにもう少し椅子があると助かる。夏バスを待つ時間がある時、座っていられるといいなと思うので。
- ・駐車場が狭く、二階にも停めにくいです
- ・トイレのハンドソープを補充して欲しい。
- ・避難所の機能を充実してほしい
- ・夜間診療所は、こちらにあった方が便利だった気がします。

【利用方法について】

- ・高齢者のふれあいの場や生きがいづくりに利用できる機能。例としてサークル活動、お茶会など各種催し物、研修等活動の場に利用できる機能 例えばシルバー人材事業、点字作業室喫茶室や娯楽室 例えば食堂、囲碁・将棋等
- ・いろいろな催しも実施しており、現状でよいと思う。
- ・スポーツ施設など
- ・親子体操教室の開催、一時預かり専門保育園の開設、小学生、中学生向け性教育機能、中高年向け健康教室の開催
- ・子育てが終わった世代の勤労者も参加しやすいイベントなど。
- ・保健福祉なので健康で長生きできる様な積極的な施設を作ってほしい。例:誰でも利用できるジムの器具の充実など等福島市民ならだれでも気軽に利用できる場所にしてほしい。
- ・アオウゼのようなオープンな運営と利用をしてみてもどうだろうか、ギャラリーや小さな発表会が催せたり、物販もあってもいいのでは。
- ・小さい子供だけでなく、中学生にも利用できるスペースがあればいいなと思います。自習室等に会議室を開放していただけないかな。
- ・これからの高齢化社会のための活動拠点、市民の健康のためにきっかけとなる入口の役目。
- ・健康維持のため、スポーツジムのような機能があれば利用したいと思う。
- ・五階の運動スペースの利用時間帯について、土日祝日の昼休み時間も利用させてほしい。平日の日中で、特に催し物がないときに利用させてほしい

【こども関係について】

- ・おもちゃ広場にはとても助けられました。3時までという制約があるのが残念でしたが、屋内の体がたくさん動かせる無料の施設は子育て世代にはとても魅力的です。ぜひ今後も継続してほしいと思います。
- ・子育てに関することなら、何でもここにという機能が欲しい。
- ・難病の子供を持つ家族会があり、参加させていただきましたが、もっとたくさんの方と交流できたらと思いました。
- ・病気の子供を育てるにも、福島市は親同士の交流がないために情報が少なく、在宅の工夫や、治療の種類、制度などの情報が入ってきにくい状態です。保健所の機能が移ったことで、だいたい行政が関わって来てくれるようになったと感じるものの、病気の子供も行ける学童や訪問看護などの情報もあつたらぜひお願いします。
- ・安全に乳児や未就学児が楽しめる遊び場もほしい。おもちゃ広場は年齢層が様々で、遊ばせるのには危ない時がある。実際こどもが、押されたり、走ってきてぶつかられたりした。
- ・おもちゃ広場が小さい。もう少し大きいと子供がのびのびできる場所。

・食事して良いスペースに子ども用のイスか座りやすい場所があると助かります。
・乳幼児検診があるのだから、子供向けの紙パックの自販機等があると、助かるのではないのでしょうか。
・保護者に対しての勉強会(離乳食、抱っこひも、チャイルドシート安全対策等)に保育士を交えながらの開催。保育士の中でも、プランクがあっても研修なしで現場復帰しているケースが見られる。定説が日々変化してゆく中で、昔の情報のまま現場にいる保育士は保護者(主に父母)との認識の違いが生じて、必要ないストレスを感じていると思う。現在の同じ認識を共有し、また、お互いの状況(保育士の切実な忙しさや不満、ワーママのめまぐるしい毎日の必死さを互いに理解し思いやれると思う。一番重要である子供のために「子供を一緒に育てていくチーム」という共通の意識を忘れないためにも、定期的な勉強会が必要だと感じる。
・子供の健康に関する緊急相談窓口(特に夜間)
【周知・広報について】
・実際何の時に利用出来るのがよく解らない所です。
・どのような仕事がなされている部門なのか もっとわかる仕組みが必要ではないか
・もっと広く市民の皆様へ啓蒙、啓発を実施し、皆になじまれ親しまれる施設にならんことを希望します。
・利用できる人がどのような人が分かりにくい
・活動内容・施設内設備の広報をより効果的に行なってはと思う。
・保健福祉センターの活動や機能について、あまり知る機会がないため、ネット等で広報活動をして欲しいです。
おもちゃ広場と乳児検診以外の利用しかわからないから他を利用したことがありません。どんなことができるのか、パンフレットや情報の掲示がおもちゃ広場または乳児検診のエリアにあると目に触れて利用したいと思えるかもしれません。
【その他】
・昔からある保健所と新たに設置された保健所の違いを教えてください
・目の前に緑地があるのに、何かに使っているのを見たことがないのがもったいないと思います。
・イベントなどやってるのでしょうか？ 見かけたことがないです。
・利用する機会はあまり無いですが、場所的に使いづらい、交通機関で何に乗って行くのかがわからない。

問11	その他、保健福祉センターに関するご意見・ご要望があれば、ご自由にご記入ください。
-----	--

ご意見	
【施設について】	
・駐車場が、風が強く危険。	
・玄関前のスペースがもったいない気がする。福島市には少ないドックランにして、定期的に譲渡会を行うとか、子供と参加できるイベントを開くとか、桜を植えてお花見が出来るようにするとか、もっと有効利用して欲しい。	
・センター内の各部署の構造が使いにくさにつながっている。	
・センターと検査棟の行き来が不便だと思います。	
・私の住んでいる所からは、距離があり、自家用車がないと不便である。高齢になった時や、車がない時に乳幼児を連れて行くことはかなり大変だと思う。	
・市役所と保健福祉センターが離れているので両方に手続きがあるときは不便ではないだろうか	
・公共施設ならばレストランや売店、または食事ができる場所を設置すべき。	
・駐車場がやや狭い	
・入った時、暗い感じがする。	
・何となく、乳幼児と高齢者のために施設というイメージがあります。私たち(50代)も興味を持てるような施設作りをお願いいたします。	
・大会議・小会議室の利用率を100%にして頂きたい。	
・夜間診療があった時は、数回利用させていただきました。今は、場所が移動したので特に利用する機会がありません。	
・ジムがあると聞いたのですが、誰でも利用できるのでしょうか？ 他にもなにか健康増進の教室などあれば利用したいです。	
・利用者のほとんどが子連れ、お年寄りであるのに、立体駐車場の外階段が、とても危ないです。雨の日は特に、赤ちゃんを抱っこしながらだと足元が見えなくて、危険です。	
・日曜もやってほしい。	
【利用について】	

<ul style="list-style-type: none"> ・正直なところ、いかにもお役所という感じだと市民は利用し辛いと思います。思い切って民間企業と提携するなりして、入りやすくする工夫が必要だと思う。
<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者・子供に関連した事業として運営されていることは理解できますが、高齢者とサークル等を通じて若者と気軽に接することができるような企画。例えば写真展や高齢者の趣味の発表会など
【こども関係について】
<ul style="list-style-type: none"> ・乳幼児健診の時間を早めにしてほしい。
<ul style="list-style-type: none"> ・おもちゃ広場を利用しましたが、あまり衛生的な感じがせず、その後全く行っていません。子供がたくさんくるので、おもちゃや遊具の劣化、ベタつきなどは仕方がないのだと思いますが、もう少し工夫できないのかなと思います。特に床などが、ビニールで柔らかく安全なのでしょうが、ベタついていていやでした。木製などのほうが、拭き掃除もしやすく、きれいに保てるのではないのでしょうか。
<ul style="list-style-type: none"> ・おもちゃ広場のおもちゃが壊れたままになっていたり、衛生的に心配な状態になっていたりするのが気になり、あまり利用しなくなりました。サンドパークの様におもちゃが壊れにくい木製の物などだと良いと感じました。
<ul style="list-style-type: none"> ・おもちゃ広場の開館時間を、もう少し長くして欲しい。せめて、16時くらいまで。
【周知・広報について】
<ul style="list-style-type: none"> ・市のホームページはセンターの紹介だけなので、利用できる内容を追加してほしい。
<ul style="list-style-type: none"> ・食中毒の発生状況や知識、予防方法など、もっと発信してもらえればよいと思う。
<ul style="list-style-type: none"> ・もう少し市民が利用できるPRを
<ul style="list-style-type: none"> ・保健所の役割をしりたい
<ul style="list-style-type: none"> ・何をする施設なのか知らない人が多い。
<ul style="list-style-type: none"> ・保健福祉センター入り口に分かりやすいパンフレットなどで詳しく情報を教えて欲しい。
<ul style="list-style-type: none"> ・イベントなどのPRに努めて欲しい
【その他】
<ul style="list-style-type: none"> ・東日本大震災が起きた時、福島保育所に勤務していました。助けをお願いにいくと、職員の皆さんが所庭で集まっていた子供たちを迎えに来てくれて、1階のデイサービスに避難してくださいました。カップケーキの缶づめを一人一人いただいたことが忘れられません。本当に感謝です。
<ul style="list-style-type: none"> ・子どもが小さかった頃は、遊べる食堂もあるので、子育てに心強い存在でした。
<ul style="list-style-type: none"> ・福島市にも孤独な人がたくさんいるので、そんな人の居場所になるといいな、と思っています
<ul style="list-style-type: none"> ・いつも私たちの為に働いてくださって、本当にありがとうございます
<ul style="list-style-type: none"> ・福島県は、食塩摂取量ワースト1位。高血圧疾患、心疾患、脳血管疾患、ワーストランキングの上位にランキングされています。これらを、改善するには、長野県の県民減塩運動を参考に、市民減塩運動に、つなげて、汚名返上！

【保健所総務課まとめ】
<p>保健福祉センターの利用について、おおむね、市民の方にご満足いただいていることがわかりました。ただ、子育て世代等で手続きなどの用事のある方以外では認知度が低く、何ができる施設なのかわからない市民の方が多数いることがわかり、より幅広い広報の必要性を感じました。</p> <p>また、中核市移行に伴い設置された保健所や、福祉避難所に指定されていることについても周知が不足しており、広報の手法についても、今後検討する必要があります。</p> <p>施設機能や利用方法については、より多くの方が利用しやすい施設になるよう見直しを行っていく必要を感じました。また、施設管理においても、今回いただきましたご意見を参考に、改善していきたいと思えます。</p> <p>今後も、市民の皆様からの貴重なご意見を参考にしながら、保健福祉センターの管理・運営を進めていきたいと思えます。ご協力ありがとうございました。</p>

【お問い合わせ】

《アンケート内容に関して》

福島市森合町10番1号

福島市保健所総務課総務管理係

電話：024-525-7670(直通)

《市政ネットモニター制度に関して》

福島市五老内町3番1号

福島市政策調整部広聴広報課

電話：024-563-7488(直通)